

6月定例月議会における議案に対する意見募集

No.1 防災行政無線連動型鍵ボックス整備事業（防災システム整備事業費）

令和6年の能登半島地震においては、津波警報が発表されたにもかかわらず、感震式鍵ボックス（震度5弱以上で開錠）が作動条件に達せず、施設が開放されない事例が確認された。このため、南海トラフ地震等の発生時において、津波警報等の発表と同時に施設を確実に開放できるよう、津波避難ビルに指定している公共施設等38施設にJアラートと連動した自動開錠式鍵ボックスを整備し、市民の円滑かつ迅速な避難行動の確保を図ろうとするものです。

今回の事業に対するご意見を募集します。

1. 内容

整備対象としている38施設について、令和8年度当初予算では令和8年度から令和10年度までの3か年での整備を計画していた。しかし、地域未来交付金（地域防災緊急整備型）において、令和8年3月31日付けで38施設分の交付決定を受けたことから、事業を前倒しし令和8年度で整備を完了する。

当初予算時計画

(単位:千円)

年度	施設数	予算額	財源
R8	13施設	13,400	一般財源
R9(計画)	13施設	13,400	25,771 一般財源
R10(計画)	12施設	12,371	
合計	38施設	39,171	

補正後計画

(単位:千円)

年度	施設数	予算額	財源
R8(補正後)	38施設	19,250	国庫支出金
		19,921	一般財源
合計	38施設	39,171	

【システムイメージ】



2. 補正予算額

25,771千円

(財源内訳) 国庫支出金 (1/2) 19,250千円
一般財源 6,521千円